

令和2年度第6回碧南市選挙管理委員会会議録

- 第1 日 時 令和2年6月1日（月）午前9時30分
第2 場 所 碧南市役所2階 会議室2
第3 出席した委員 栗津委員長、岡本委員、高山委員、杉浦委員
第4 欠席した委員 無
第5 参会した職員 金沢書記長、深津書記長代理、菅沼書記、齋藤書記
第6 会議の概要 （午前9時30分 開会）

1 協議事項

選挙人名簿定時登録について

2 報告事項

- (1) 選挙人名簿及び在外選挙人名簿の抄本の閲覧状況について
(2) 令和2年4月19日執行碧南市議会議員一般選挙の投票状況について

3 その他

（午前10時30分 閉会）

上記は、令和2年度第6回碧南市選挙管理委員会の会議録である。

令和2年6月1日

委員長 栗津 康之

委員 岡本 耕也

委員 高山 茂久

委員 杉浦 直美

[内容]

栗津委員長：ただいまから、令和2年度第6回碧南市選挙管理委員会を開催します。

それでは、1協議事項の選挙人名簿定時登録について事務局からご説明お願いいたします。

書記：〔資料1～2ページの内容を説明〕

各委員：了解しました。では、この議題について承認します。

栗津委員長：それでは、2報告事項の(1)、選挙人名簿及び在外選挙人名簿の抄本の閲覧状況について事務局からご説明お願いいたします。

書記：〔資料3～4ページの内容を説明〕

各委員：了解しました。では、この議題について承認します。

栗津委員長：それでは、2報告事項の(2)、令和2年4月19日執行碧南市議会議員一般選挙の投票状況について事務局からご説明お願いいたします。

書記：〔資料5～6ページの内容を説明〕

栗津委員長：個人的には、よく48パーセントの有権者が投票に来てくれたなという印象です。

高山委員：他の自治体で選挙があった報道に触れたのですが、軒並み30パーセント台だった気がします。碧南市の投票率は伸びた方だと考えます。

栗津委員長：期日前投票所を拝見した際、選挙人の方が整然と並んでいたことに感心しました。現場の方も頑張っていたと思います。

書記：電話の問合せ件数は多かったですが、期日前投票期間が始まってからは、大きなトラブルもなく、選挙人の皆さんの協力もあって無事執り行えたと思います。

各委員：了解しました。では、この報告について承認します。

栗津委員長：それでは、3その他について、事務局から何か説明事項等がありますか。

書記：投票済証の交付についてですが、昨年度から皆さんには懸案事項としてご協議いただいているところではあります。今回、市議会議員選挙での結果はご覧のとおりですが、選挙を経た上で皆さんのご意見等がありましたら、教えてください。

栗津委員長：要望があれば交付すればいいのではないのでしょうか。

岡本委員：個人的には、交付をやめてもいいとは思いますが。選挙の戦略に使われるので

あれば。

杉浦委員：交付をやめたら投票率は下がりますよね。その分、純粋な思いは反映されるかとは思いますが。

高山委員：交付を続けたい側からすると、やめると投票率が下がるという反論が出てくると思います。投票率を下げないための代替案がなければやめられないと思います。

杉浦委員：不要だとは思いますが、投票率が下がる不安はありますよね。

書記：済証交付に反対の党派でも、それを逆に利用している地域もあるようです。その分自治体の判断に任されてしまう部分とはなりますが。

栗津委員長：印刷にはどのくらいお金がかかるのですか。

書記：印刷の紙代くらいです。細かく切るので紙代としても1,000円かかるかどうかくらいです。

栗津委員長：法的には根拠がなく、やってもいいがやめてもいい、ほとんどの自治体が行っているという現状では、やめる正当な理由もないと思われます。代替案がない現状では継続していくほかないかなと思います。

書記：今ある制度を有効活用すべきとも言えますね。

栗津委員長：済証の交付はいつからやっているのですか。

書記：わかりません。

本件は、今後も継続的に審議していくということによろしいでしょうか。

各委員：はい。

栗津委員長：他に議題等はありませんでしょうか。

書記：今回の市議会議員一般選挙の執行全体について、皆様のご意見、ご感想等を伺えたらと思います。今回がコロナという異常な事態の中での選挙でしたが、いかがでしょうか。

岡本委員：投票の電子化が進められたらいいと思います。済証交付の問題もそうですが、旧態依然とした体制だけ残って時間だけかかっていると、投票自体馬鹿らしいとも感じてしまいます。判子はなくならないですか。立会者全員のものをもろうという、感染リスクを考えると大丈夫かなとも思います。全員一致の賛成は無理なので、少しずつでも変えられたらと思います。

高山委員：期日前投票所を何度か拝見しましたが、昨年度の参議院選挙と比較すると市

役所の職員の方をはじめ、熱量をすごく感じました。

電子投票については、投票の秘密を考えると電子化は不安です。海外のニュースを聞いたりもしますが、結果が操作されているのではないかと疑念を抱かれやすいという印象があります。現状では、紙でやることで信憑性を持たせることになるのではないかと、開票は確実に紙を確認することで選挙の正当性が保たれるのではないかと思います。

杉浦委員：せめて投票用紙に記名をやめることはできないでしょうか。参議院選挙も今回の市議会議員選挙も疑問票の検討に時間がかかっている気がしましたので。

書記：告示日翌日に期日前投票が始まるまでに候補者の名前を一覧にして印刷することは現実的には難しいです。

栗津委員長：法律を変えられない限り難しいのですが、選挙期間が1週間というのは、選挙人が候補者を選ぶのは難しいのかなと思います。2週間は欲しいと思います。選ぶ材料が不十分な中、選挙公報も直前に届くという状況では選べないのではないかと思います。

投開票の効率化については、進めるべきだとは思いますが、タイムリーに集計できるシステムですとか、候補者を選んだら紙が出てくるシステムにすれば疑念は排除できますし、不正も可能性は低くなりますね。

書記長：選挙人自身で選んでもらって印字された名前をそのまま投函してもらえば疑問票の生まれる余地はなくなりますね。

栗津委員長：今後、立会人やアルバイトをやる人も減少していくと思います。そうなると選挙自体成り立たなくなってくるかと思っています。ですので、現場の負担をいかに軽くしていくかというのは、課題だと思います。

杉浦委員：当日の投票所は特に問題はなかったのですか。

書記：投票所によっては、面積が狭く密になりやすいという場所があります。天道保育園だけは狭いので、どこかで変えなければならないというのは課題としてはあるのですが、代替場所が見当たらないのが現状です。

栗津委員長：では、他に議題、質問等無いようなので、これで令和2年度第6回選挙管理委員会を終了します。